

笠岡美来

留学先：カナダ

カナダでの経験

私は、2018年9月の初めから2019年6月下旬までの10ヶ月間、カナダのバンクーバー島にあるBrookes Westshoreに留学しました。正直、日本を出発するまでは不安や緊張など沢山のマイナスな感情がありました。しかし、学校に着いた瞬間からそのような感情は無くなり、6月の最終日には涙を流してしまったほど充実した10ヶ月間でした。今回の留学で学んだことが沢山ありますが、その中でも一番衝撃を受け、日本では絶対に経験できないであろう事について書いていこうと思います。

ビクトリアとは（バンクーバー島、カナダ）

私の通っていた学校はビクトリアという、カナダの西に位置している小さな島の中にありました。夏は半袖、冬も雪が少し降るくらいなので、気候が日本に似ていてとても過ごしやすかったです。学校の周りは森やスーパー、スポーツセンターなどしかありませんでしたが、交通機関も全く不便ではありませんでした。電車のようなものはないですが、学校から8分近く歩いた所からバスが走っていて、そこからダウンタウンや大きなモールに行くことが出来るため週末はこのバスを使いました。ビクトリアは、イギリスの植民地であったため道路に花を飾ってあり、街並みがヨーロッパみたいで綺麗でした。観光地はあまり多くはなかったですが、自然と都会のどちらもが備わっていて本当に素敵でした。



ビクトリアの街並み

学校での生活

二人部屋の学校寮に住んでいました。寮では、朝昼夜3食の食事が出され、就寝時間や外出できる時間が決まっています。毎日ずっとみんなと一緒にいるので、意見が何回かぶつかってしまった事はありませんが、全員が家族のようだった寮での生活が今でも思い出されます。学校はとてもインターナショナルで、生徒はカナダの他にコロンビア、中国、タイなど10ヶ国以上から集まっていました。ですから、自分の国で当たり前に行っていた事が他国ではとても失礼であることを知った時には驚きましたが、このような一つ一つの経験が新鮮で、この学校を選択してよかったなと思います。しかし、学校では苦勞することが沢山あり、その中でも英語が一番でした。特に理科や社会のクラスなどは専門用語が多いため、何について先生が話しているのかわかりませんでした。初めは緊張して先生にも聞きに行けなかったのですが、寮で友達が助けてくれたこともあり、徐々に慣れて行きました。



寮の部屋の様子

日本について

留学したことで、カナダの事だけでなく、海外から見た日本も知る事ができました。日本食や機械品、アニメなど日本の物に興味を持ってきている人が多くいました。アニメは授業などでも取り上げられた事もありましたし、寮で日本のゲームで遊んでいる生徒を見かけました。そのため、私から積極的に声をかけられる機会が多くあり他国の友達が沢山できました。友達はみんな、日本の製品を褒めてくれるので恥ずかしさの反面とても嬉しく思いました。夏休み中に日本へ遊びに来てくれる友達が多く、英語を使えるいい機会になるのでとても楽しみにしています。

最後に、10ヶ月の留学を通して英語力も向上しましたが、考え方も変わりました。20を超える国の人と出会えたことに感謝し、この経験を大切にしたいです。



私が1学期に所属していた
バレーボールチーム。



2、3学期に所属していたサッカーチーム。
沢山、文化の違いや難しさを話し合いました。